参考様式第１-21号（規則第８条第19号関係）　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格Ａ列４）

Ｄ・Ｅ・Ｆ

技能実習の準備に関し本国で支払った費用の明細書

１　送出の概要

●漢字の氏名がある場合であっても、ローマ字の氏名のみの記載で足り、漢字の氏名の記載は省略可。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①技能実習生の氏名 | ローマ字 | 　TEI　HEIOTU |
| 漢字 | 　 |
| ②取次送出機関の氏名又は名称 | 　〇〇公司 |
| ③実習実施者の氏名又は名称 | 　機構　株式会社 |
| ④監理団体の名称 | 　法厚協同組合 |

（注意）

①は、ローマ字で旅券（未発給の場合、発給申請において用いるもの）と同一の氏名を記載するほか、漢字の氏名がある場合にはローマ字の氏名と併せて、漢字の氏名も記載すること。

２　取次送出機関が徴収した費用の名目及び額

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 名目 | 徴収年月日 | 額 |
| １ | 旅券取得手続費用 | 〇年　〇月　〇日 | 　　　　０００　元（　　００００円） |
| ２ |  | 年　　月　　日 | 　（　　　　　　円）　　　　 |
| ３ |  | 年　　月　　日 | 　　　　（　　　　　　円）　 |
| ４ |  | 年　　月　　日 | （　　 円） |
| ５ |  | 年　　月　　日 | 　 （　 　円） |
|  | 計　　０００　元（　　００００円） |

（注意）

額については、現地通貨又は米ドルで記載し、括弧書きで日本円に換算した金額を記載すること。

３　外国の準備機関が徴収した費用の名目及び額

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 徴収した機関の名称（送出における役割） | 名目 | 徴収年月日 | 額 |
| １ | 　　〇〇日本語公司（日本語教育機関） | 教育費用 | 〇年〇月〇日 | 　　　００元（　０００円） |
| ２ | 　　　　　　　　　（　　　　　　　） |  | 年　月　日 | 　　　　　　（　　　　円） |
| ３ | 　　　　　　　　　（　　　　　　　） |  | 年　月　日 | 　　　　　　（　　　　円） |
| ４ | 　　　　　　　　　（　　　　　　　） |  | 年　月　日 | 　　　　　　（　　　　円） |
| ５ | 　　　　　　　　　（　　　　　　　） |  | 年　月　日 | 　　　　　　（　　　　円） |
|  | 計　００元（　０００円） |

（注意）

１　外国の準備機関には、技能実習生の本国での勤務先、入国前講習を実施する機関など技能実習の準備に関与する一切の機関が含まれる。

２　徴収した機関については、名称のほか、括弧書きで技能実習生の送出において果たした役割を記載すること。

３　額については、現地通貨又は米ドルで記載し、括弧書きで日本円に換算した金額を記載すること。

技能実習生から２に記載の金額の費用を徴収し、その内訳について技能実習生に十分に理解させるとともに、送出に関与した他の機関が技能実習生から３に記載の金額の費用を徴収したことを把握しました。また、２及び３に記載の費用以外の費用については、技能実習生が徴収されていないことを確認しました。

　　　　　　　２０××年　〇〇月　〇〇日　　作成

　　　　　　　　　　　　　　　　取次送出機関の氏名又は名称　　〇〇公司

　　　　　　　　　　　　　　　　　作成責任者　役職・氏名　　　代表者　　〇　△〇

取次送出機関及び送出に関与した他の機関に２及び３に記載の金額を支払い、その内訳について理解しました。また、２及び３に記載の費用以外の費用については、徴収されていません。

　　　　　２０××年　〇〇月　〇〇日　　作成

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　技能実習生の署名　　　　　　丁　　丙乙